

あそびにも まなぶにも 気持ちのいい季節

ポータルサイト「うべっくる」や環境サロンのアーカイブをご活用ください

## 宇部市環境学習ポータルサイト 「うべっくる」

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

イベントカレンダー  
環境学習拠点や環境活動団体のイベントを掲載しています。

3環境学習拠点のフログ  
ときわミュージアム・アクトビレッジおの・銀天エコプラザの今がわかります。



うべっくる    
<http://www.ubekuru.com>

Facebookへはこちらからアクセスしてください。  
Facebookに最新情報を掲載しております。ご意見ご質問等ございましたら、コメントを書き込んでください。  
<https://www.facebook.com/gintenecoplaza> (コメントにはFacebookのアカウントが必要です)

ポータルサイト (<http://www.ubekuru.com>) のお問い合わせフォームやブログのコメント欄もご利用ください。

## これまでの環境サロンをアーカイブで！ そして、新しいサロンを企画中です

開館以来続けている「環境サロン」。今まで以上に話のはずむサロンにしたいと、たいま新しいサロンを企画中です。ぜひ皆さまの声を繁栄したいと思います。ご意見等お寄せください。今までのサロンの様子はアーカイブをぜひ、ご覧ください。

アーカイブは「環境サロン」で検索ください

<http://kankyo-salon.jpn.org/>



各シリーズのサロンを見ることができます



ミーティングルームの様子や利用料金などをご覧いただけます。空き状況やご予約はお電話がご来館ください。

## まちなかエコ市場

今回は 6月8日(土) です。

※ 出店者、ステージ参加者を募集しています。

## 環境歳時記

5月1日は「水俣病公式確認の日」



裏面をご覧ください

## 環境まなび研究所

手品をまじえてワクワクドキドキ楽しく環境学習

私たちは、参加者の、「考える、見る、聞く、さわる、味わう、参加する」などを取り込み、ゲーム、手品などの楽しさをまじえての、幼稚園児から子供会、小中高生、大学生、婦人会、老人会まで、あらゆる世代を対象に、地球環境問題の大切さをわかりやすく楽しく伝えるための「環境学習のおもちゃ箱」を準備して、楽しい環境学習を実践しています。



### ●出前講演（活動実績 191 回）

- 例 ・ヒトはとんでもない生き物だ  
～地球環境問題の原因～
- ・リサイクルはすごい  
～今すぐできる私たちの行動～
- ・石油と水は地球からの贈り物

### ●ワークショップ（15 回）

- 例 ・ゴミの辞書作り
- ・ゴミを減らすエコな買い物

### ●ゲーム・体験学習（活動実績 132 回）

- 「手品」「ゲーム」「クイズ」を組合せたエコ学習。
- 例 ・ビンゴゲーム・トランプゲームで学ぶエコ
- ・環境すごろく・カルタ・シグソーパズル

### ●リサイクル工作（288 回）

- 例 ・ペットボトルで作る風力自動車
- ・牛乳パックで帽子作り
- ・広告の紙や廃材で秘密基地作り

連絡先 0836-32-2434（曾我）

## 環境歳時記 5月1日 「水俣病公式確認の日」

今年も5月1日がやってきた。

戦後の荒廃からようやく復興が本格化、高度成長にさしかかろうとした時期、東京からすれば僻遠の地、九州は熊本県、すぐとなりは鹿児島県という水俣市で奇病が発生した。

その始まりは、57年前の4月21日5歳の女兒が窒素水俣工場付属病院に診察に訪れた事からだった。

その女兒は口がきけず歩くこともできないなど重症のため23日に入院した。その女兒の妹も8日後に入院、そのほか同様の症状を示す患者2人の入院があり、その状況を見た病院長の細川一はそのただならぬ状況を見て5月1日水俣保健所へ届けた。

これが水俣病の公式確認の日である。

病気発生以降、熊本大学医学部を中心に病気の原因調査が始まった。そしてほどなく、その原因は何らかの重金属化合物が原因ということまでこぎつけた。

疑いのある重金属を扱っている会社は市内にただ一つ、窒素水俣工場である。工場

からは、海に排水が以前から大量に排出されており、時には海に魚が白い腹を浮かせることもあった。そしてそれらの魚を食べた猫が踊り狂い、海に飛び込む、そして火に飛び込むという現象も見られていた。

周囲の人たちはだれもがその原因は工場から排出される廃水であろうと考えていた。

しかし、その原因物質の特定は工場の非協力的な態度、そして名だたる学者たちの異論がその特定を阻んできた。

これから半世紀、今もって数万人の水俣病の患者及びその疑いのある方が苦しんでいる病気の始まりであった。

水俣市はもちろん熊本県、国も原因の特定には消極的な態度を示していた。

そして無為の時間が過ぎるとともに初めは水俣湾に集中していた患者の発生は広く不知火海沿岸まで広がることとなった。

そんな状況から9年、水俣市から遠く離れた新潟県で同様の患者が発生した。これが第二水俣病と言われる新潟水俣病である。水俣市での事件発生以後適切な対応が県、国で行われていれば避けられた第二水俣病である。

以後、多くの患者が亡くなり、そして今も多くの人が苦しんでおられるこの事件、

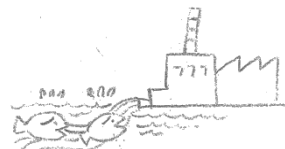
今持ってその病像は明確にされておらず、起こされた裁判は新潟関係を含めてこれまで37件起こされ、その内8件は今持って係争中である。まさに深淵の闇を見る様相である。

しかし、その中にちよいとホットするニュースもあった。

4月16日、水俣病事件に係わる裁判の一つ溝口裁判で最高裁判決が出て、原告勝訴となった。

この裁判の過程も県や国の不作為の典型的なものである。原告の溝口チエさんは1974年の申請以降、21年間放置され、1995年メチル水銀の曝露歴は認めながら「公的資料がない」という理由で申請が却下された。しかしチエさんは1977年死亡したが申請後17年間も病歴調査もしていなかったことがあとから判明した。

まさに公害患者は戦後著しい経済発展をして世界の名だたる先進国の仲間入りした日本の影の象徴である。（館長 西村 誠）



## 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）